

中国地区品質経営協会 シンポジウム

モノづくりマネジメント技術革新

- 参加のお勧め -

近年のモノづくりは、これまでのように供給側が考える高品質/高信頼性を追求するにとどまらず、顧客が想定する以上の価値を提供し、感動を与える品質づくりが求められています。

また、人類永遠の課題である「持続可能な社会」に向け、企業に対しては地球温暖化の改善に向けたモノづくりが求められています。

本シンポジウムでは、そのような厳しい状況下において、まさしく、お客様と地球温暖化対応へのニーズを先取りし、成功された取り組み事例として、2つの企業の方にお越しいただき、ご講演いただきます。

また、講演後のパネルディスカッションでは、広島大学 大学院工学研究科 教授の高橋先生をコーディネーターに、参加者の皆様からの質問にお答えする形で意見交換ができればと考えています。

分かりやすく、より実りのあるシンポジウムにしたいと計画しておりますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時：2016年10月20日(木) 13:20～17:00 (13:00開場)

会場：広島商工会議所ビル1階 101会議室

プログラム：

第一部 講演 (13:25～14:25)

『TOTOのもの創りとエコリモコン開発事例の紹介』

TOTO株式会社 エレクトロニクス技術本部 電子機器開発第二部

技術主幹 兼 電子機器研究開発グループ グループリーダー

山中 章己(やまなか まさみ)氏

第二部 講演 (14:35～15:35)

『揮発性有機化合物とCO₂を同時削減する新塗装技術「アクアテック塗装」』

マツダ株式会社 技術本部 車両技術部 塗装技術グループ マネージャー

篠田 雅史(しのだ まさふみ)氏

第三部 パネルディスカッション (15:55～16:55)

・TOTO株式会社 山中 章己 氏

・マツダ株式会社 篠田 雅史 氏

・広島大学 大学院工学研究科 教授 高橋 勝彦 氏 (コーディネーター)

講演者/講演要旨 紹介

< 講演 >

【講演者】

山中 章己 氏 (TOTO株式会社 エレクトロニクス技術本部 電子機器開発第二部
技術主幹 兼 電子機器研究開発グループ グループリーダー)

[略 歴]

- ・ 1991年 TOTO株式会社 本社工場 入社
- ・ 2004年 通信ユニット開発グループ グループリーダー
- ・ 2015年 電子機器研究開発グループ グループリーダー
- ・ 2016年 電子機器開発第二部 技術主幹 現在に至る

【講演要旨】

来年の2017年5月に創業100周年を迎えるTOTO株式会社は、創業時から『CS』、『人づくり』を大切に、もの創りに励んで参りました。

その一例として、人のボタンを押す力を用いて発電させることで、電源工事不要(省施工)と電池交換不要(省管理)とを両立させた、温水洗浄便座用リモコンである『エコリモコン』の開発事例をご紹介します。

< 講演 >

【講演者】

篠田 雅史 氏 (マツダ株式会社 技術本部 車両技術部 塗装技術グループ マネージャー)

[略 歴]

- ・ 1988年 マツダ株式会社 表面処理技術グループ(現、塗装技術) 入社
- ・ 1997年 オートアライアンス・タイランド 出向
- ・ 1999年 マツダ株式会社 塗装技術グループ 帰任
- ・ 2014年 現職に至る

【講演要旨】

塗装工場は、揮発性有機化合物(VOC)を多く含む塗料を使用し、塗装ブースや乾燥炉では多くのエネルギーを消費しており(CO₂)、環境負荷削減は大きな課題ですが、一般的なVOC対策は多くのエネルギーが必要な為、VOCとCO₂が相反します。

エネルギー効率と資源効率の観点から、材料や設備に求める機能を根本から再構築する工程革新によって、水性塗装に伴うエネルギー増加をオフセットし、VOCとCO₂の同時削減を実現し、同時に、超短縮工程 / 塗膜性能向上 / 高意匠カラーも実現したアクアテック塗装を紹介させていただきます。

パネルディスカッション コーディネーター紹介

高橋 勝彦 氏 (広島大学 大学院工学研究科 教授・工学博士)

[略 歴]

- ・ 1988年 早稲田大学 大学院 理工学研究科 機械工学専攻 単位取得後退学
- ・ 1993年 広島県立大学 経営学部 経営情報学科 助教授
- ・ 1994年 広島大学 工学部 助教授
- ・ 2001年 広島大学 大学院 工学研究科 助教授
- ・ 2003年 広島大学 大学院 工学研究科 教授 現在に至る

[主な役職]

デミング賞委員, 日本経営工学会監事・中国四国支部支部長, 日経品質管理文献賞委員, 日本 MOT 学会編集委員, 中国地区品質経営協会副運営委員長, 他

会場案内

広島商工会議所ビル 1階 101会議室

広島市中区基町 5-44 TEL(082)222-6610(代表)



- ・ 相生通り(国道 183 号線) 沿い原爆ドームの向かい。
- ・ 路面電車 系統、各社バス/アストラムライン利用の場合は、原爆ドーム前、紙屋町、広島バスセンター県庁前等で下車。

参加要領

- [定 員] 150 名
- [参 加 費] 会員会社 無料 (非会員会社 3,000 円 / 一人)
- [申込締切日] 2016 年 10 月 11 日 (火)
- [申 込 方 法] 参加申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、又は Eメールにてお申し込み下さい。

シンポジウム「モノづくりマネジメント技術革新」参加申込書

申込先：中国地区品質経営協会 行

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目5番9号（世良ビル404号）

TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845

e-mail : qmac@a1.mbn.or.jp URL : <http://qmac.jp/>

会社名	申込責任者：		
	TEL：		
	e-mail：		
住所（〒 ）			
参 加 者 名	所 属 ・ 役 職		
参加（計 名）	受付確認連絡	必要	・ 不要
参加（計 円）	請求書発行	必要	・ 不要

ご記入頂いた企業・組織および個人情報は、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。